



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成29年8月10日 14時00分
資料配布		

件名	京都・白川エリア、朱雀地区を対象に まちづくりワークショップを開催 ～民間まちづくり実践セミナー～
----	---

概要	<p>国土交通省都市局所管の民間まちづくり活動促進事業の一環として、平成26年度から全国各地において「民間まちづくり実践セミナー」が開催されています。</p> <p>今般、京都市において本セミナーが開催され、基調講演や現地調査のほか、空き店舗、空きビルの活用や商店街の活性化に向けて、まちづくりの専門家がアドバイスを行うワークショップを実施されます。</p> <ul style="list-style-type: none">●日時：平成29年9月22日（金）～24日（日）●場所：ひとまち交流館・京都 地下1階 京都市景観・まちづくりセンター●主催：政策研究大学院大学 共催：（公財）京都市景観・まちづくりセンター 協力：あきや活用まちづくりセンター <p>※セミナーの詳細は、別添資料をご覧ください。</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
------	--------------------

問合せ先	近畿地方整備局 建政部 計画管理課長 <small>おおすみ</small> 大澄（電話 06-6942-1051） （セミナーの内容等につきまして） 政策研究大学院大学 民間まちづくり実践セミナー事務局 <small>くつざわ</small> 沓澤（電話 03-6439-6197）
------	---

民間まちづくりの例



リノベーション前

京都の町家



リノベーション後

旅庵 然 (旅館)



リノベーション前

旧魚網問屋(築83年)



リノベーション後

小田原宿なりわい交流館

予約・お問い合わせ

参加を希望される方は、9月15日(金)までに、添付のエントリーシートをお使い頂くか、下記アドレスからエントリーシートをダウンロード頂き、所定事項(①氏名、②連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス等)、③希望するプロジェクト素材)をご記入の上、下のあて先までEメールで送信いただくか、FAXまたは郵送でご提出ください。

エントリーシート・ダウンロード用HPアドレス：
<http://www3.grips.ac.jp/~up/word/kyoto.docx>

〒106-8677
 東京都港区六本木7-22-1 B1011
 政策研究大学院大学
 民間まちづくりセミナー事務局 菊池
 電話：03-6439-6197
 FAX：03-6439-6010
 Eメール：minmachi@grips.ac.jp

※お申込みいただいた方には事務局より集合場所等の詳細をご案内いたします。
 ※その他、質問等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。



会場：京都市景観・まちづくりセンター
 〒600-8127 京都市下京区西木屋町通
 上ノ口上る梅湊町83番地の1
 「ひと・まち交流館 京都」 地下1階

このセミナーは国土交通省都市局の「民間まちづくり活動促進事業」の一環として実施するものです

公開
講座

民間まちづくり 実践セミナー

京都セミナー2017

参加費無料

※ 交通費・宿泊費は参加者負担となります

※ 以前に民間まちづくり実践セミナーに参加された方もぜひご参加下さい

とき 2017年 9月22日(金)・23日(土)・24日(日)

ところ ひとまち交流館・京都 地下1階

京都市景観・まちづくりセンター

セミナー参加にあたってのお願い

このセミナーは、構想段階にある潜在的なプロジェクトを素材として、まちづくりの専門家からアドバイスを受けながら、プロジェクトの企画、設計、収支計算等の検討を行って発表する、3日間連続のセミナーです。

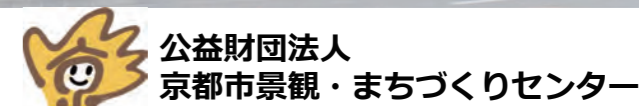
参加者には、事務局が準備・提供し、セミナー講師とともに現地調査したプロジェクト素材を検討していただきます。

空き店舗・空きビルの活用や商店街の活性化に取り組む個人や団体の方、不動産業・建築設計関係の方、行政関係者の方など皆様のご参加をお待ちしております。

主催



共催



協力



講師紹介



内藤 英治(ないとうえいじ)氏

一般社団法人日本メインストリートセンター副代表理事、アーバンデザイナー。中心市街地を救うプロセスのマニュアル「メインストリートプログラム」習得に渡米。4年間4回のプログラム研修を受け、国内で3年間のモデル事業を経て、日本メインストリートセンターの立ち上げに参画。「中心市街地を救うのは、人材育成にあり」を基本理念とし、「稼ぐエリアマネジメント、公民連携、建物ストックのリノベーションと活用」を、十数都市で実践。



高田 光雄(たかだみつお)氏

京都大学名誉教授／京都美術工芸大学教授、博士(工学)、一級建築士。1951年京都市生まれ。居住文化を育む住まい・まちづくりの実践的研究を継続。公益社団法人都市住宅学会会長、京都府・京都市の建築審査会会長、京都府・大阪府・京都市・大阪市の住宅(まちづくり)審議会会長、舞鶴市都市計画審議会会長などを務める。著書に「少子高齢時代の都市住宅学」など。計画作品に、「実験集合住宅NEXT21」「平成の京町家 東山八坂通」など。日本建築学会賞、都市住宅学会賞、日本建築士会連合会賞、日本不動産学会業績賞、計画行政学会計画賞など受賞。



西山 広志(にしやまひろし)氏

NO ARCHITECTS 共同主宰。建築家。1983年 大阪生まれ。2009年 神戸芸術工科大学大学院芸術工学専攻(鈴木明研究室)修了後、奥平桂子と共に活動を開始。2011年 事務所を大阪市此花区に移すと同時にNO ARCHITECTS 設立。建築をベースに、設計やデザイン、リノベーション、インスタレーション、ワークショップ、まちづくりなど、活動は多岐にわたる。近畿大学・摂南大学 非常勤講師。http://noarchitects.jp/



赤崎 盛久(あかさきもりひさ)氏

あきや活用まちづくりセンター代表理事、博士(工学)、経営学修士、一級建築士。経営学的視点から住まい・まちづくりを研究。空き家対策が不動産流通の論理でなく、まちづくりの論理で行われるべきことを標榜し、地域住民による空き家対策を組織的に支援。また、観光と住民の生活のバランスと融合を模索。「京都市粟田学区における地域住民と連携した空き家流通促進事業」で2015年都市住宅学会業績賞受賞。三重大学非常勤講師。セミナーでは現地調査案内、先進プロジェクト紹介等を担当。



中山 高樹(なかやまたかき)氏

一般社団法人日本メインストリートセンター理事・エリア再生指導員、地域政策プランナー、建築家。菊竹清訓建築設計事務所を経て、浦安市職員として、東京ディズニーリゾート、新浦安周辺エリア等のプロジェクトを初動機から長年、開発調整役として担当。これまで茨城大、東北公益文科大学院、千葉大にて非常勤講師。メインストリートプログラムの米国研修にも参加し「街中を元氣」にする組織づくり・人づくりを実践。

京都セミナー2017日程

会場 ひとまち交流館・京都 地下1階
京都市景観・まちづくりセンター



レクチャーの様子



ワークショップ



まち歩き・現地調査



まちづくり発表会

9月 22日 金 — セミナー第1日

- 12:30 ~ 13:00 受付
- 13:00 ~ 14:30 基調講演・レクチャー
- 14:30 ~ 17:30 まち歩き・現地調査

※ 事務局が準備したプロジェクト素材の説明を受けたうえで、現地を見学・調査します。

9月 23日 土 — セミナー第2日

- 9:30 ~ 12:00 ワークショップ I
- 13:00 ~ 14:15 レクチャー
- 14:30 ~ 18:00 ワークショップ II

※ ワークショップでは、参加者がプロジェクトの企画・提案を行い、空き店舗の活用や商店街活性化等の事業手法について、専門家によるアドバイスを受けて、提案をブラッシュアップします。

9月 24日 日 — セミナー第3日

- 9:30 ~ 12:00 ワークショップ III
- 13:00 ~ 17:00 まちづくり発表会

※ 参加者はプロジェクトの発表を行い、講師の先生方から広くアドバイスを受けることができます。

民間まちづくり実践・京都セミナー2017 エントリーシート

参加申し込みと同時に、エントリーシートに所定事項をご記入・ご提出ください。

下記の HP アドレスよりダウンロードいただきメール送信いただくか、本紙に記入の上 FAX 又は郵送でお送りいただき、9月15日（金）までにご提出願います。

○ダウンロード用 HP アドレス

民間まちづくり活動促進事業 <http://www3.grips.ac.jp/~up/jinzai/seminar.html>
→ エントリーシート <http://www3.grips.ac.jp/~up/word/kyoto.docx>

○メール送信先 minmachi@grips.ac.jp

○FAX 03-6439-6010 ○電話 03-6439-6197

○郵送先 〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1 B1011
政策研究大学院大学 民間まちづくりセミナー事務局 菊池

氏名		ご所属・役職	
住所			
電話		E-mail	

(ご記入できる箇所のみご記入下さい)

1. 本セミナー・ワークショップでは、事務局で準備し現地調査したプロジェクト素材について、まちづくりの専門家からアドバイスを受けながら、プロジェクトの具体化を検討いただきます。

(1)～(4)のどの検討を希望されますか。検討素材の説明に関する以下の参考資料もご参照いただき、○印をつけてお答え下さい。

- (1) 白川地区での建物リノベーション
- (2) 白川地区のエリアマネジメント
- (3) 朱雀地区での建物リノベーション
- (4) 朱雀地区のエリアマネジメント

2. 1で選択されたテーマに関して、あなたが解決したい地域の課題、または、目指す地域像について教えてください。

対象地区の課題

(1) 白川エリア課題

粟田学区は、近年の観光ブームの中で大きく変貌しつつあるが、その中で三条通、東大路通及び白川で囲まれた白川エリアは、顕著にその現象が顕れている。このため「住民生活と観光との調和」をテーマに白川エリアのまちづくり提案について検討する。さらに学区内の空き家(京町家)のリノベーションについて検討する。

(2) 朱雀地区（朱雀第一学区）課題

朱雀第一学区は、市街地の中に古くからの町家や路地が残るなど、風情ある京都らしい町並みを形成する一方で、地震時には建物倒壊や延焼火災の発生など、大きな被害が予想される。

このため朱雀第一学区では、「防災まちづくり」に取り組み、袋路の2方向避難の確保や老朽化した危険な空き家の除却などを進めている。

町家のリノベーションを通じて、地区の防災性向上や近隣の三条会商店街の活性化にも資するプロジェクトを検討する。

WS 検討課題

1. 白川エリア

(1) 地区の概況

白川エリアは、北の三条通り、西の東大路通り及び白川でかこまれた逆三角形の地域である。白川は親水空間を形成し、現在も住民は春秋の年二回の清掃活動と夏祭りをこの白川で行っており、川を通じてのコミュニティ活動が盛んである。

一方、祇園、知恩院、平安神宮、岡崎公園などに囲まれた栗田学区は、近年の京都の観光ブームの中で大きく変貌し、弊害や軋轢も生じている。増大する観光客に対応する宿泊施設の急増に対し、無許可営業の民泊ばかりでなく、正規の資格を取得する宿泊施設の建設に対しても地元住民からの反発などがおきている。しかし、地域としては観光都市京都の宿泊などのバックヤード機能が求められている。

(2) 検討課題例

白川エリアにおける「住民生活と観光との調和」をテーマとしながら、①白川エリアの計画規制手法などによる住民生活と観光の調和の提案、②白川を活用したコミュニティに資する提案（例えば親水公園など）の提案、③地区内の町家を対象として、まちづくりに貢献するとともに、収益事業として持続可能な施設へのリノベーション事業計画などについて検討する。

「住民生活と観光」の調和の上に、一時的な観光ブームでなく、持続的な優れた観光地となる仕組み、仕掛けの提案を目標とする。



図1 栗田学区



図2 白川エリア

注: 赤のラインで囲まれた地域が「栗田学区」、
青のラインで囲まれた部分が「白川エリア」

(3) リノベーション検討物件（予定）

東山区栗田学区内の賃貸物件。用途地域は第二種住居地域。2戸1の一階部分と、二階の西側の部分を13年定期借家して事業をする人を募集中。家賃は10万円。

2. 朱雀地区（朱雀第一学区）

(1) 地区の概況

朱雀第一学区では、2014年度から「防災まちづくり」に取り組み、袋路の2方向避難の確保や老朽化した危険な空き家の除却などを進めるとともに、「防災まちづくり計画」を策定するほか、空き家対策への取り組みにも着手している。本年7月には、「京町家まちづくりクラウドファンディング支援事業」による町家のリノベーションによる旅館「蔵や南聖町」が開業した。

(2) 検討課題例

町家のリノベーションを通じて、地区の防災性向上や近隣の三条会商店街の活性化にも資するプロジェクトを検討する。



(3) リノベーション検討物件（予定）

中京区朱雀地区内の賃貸物件。用途地域は商業地域。家賃は5万円。